

第4回かわさきコンパクト委員会 議事録

日 時：2013年1月21日（月）午後2時00分～午後5時15分

場 所：川崎市役所第四庁舎第1会議室

出席者：〔委員〕岩森、小倉、庄司、末吉、瀧田

〔川崎市〕地球環境推進室

〔事務局〕一般社団法人CAT

1. 開会

2. かわさきコンパクトフォーラム開催について

事務局から、資料をもとにフォーラムについて提案された。

委員から出された意見は下記の通りである。

（フォーラムの内容について）

- 川崎市には富士通とNECなど世界に名だたる国際企業があり、その国際的視野や視点を持っている川崎の企業の話聞くことが大事であるが、国際的に先に行っている企業の話川崎市のどのビジネスに向けて話をするのか、整理する必要がある。
- かわさきコンパクトは企業と市民と両方あるので、企業ばかりでなく市民の目を反映させたものにしたい
- 市民に対しては好事例をシェアすることを進めていきたい。かわさきコンパクトの設計当初から市民参加型が大きな視点なので、川崎市内企業の好事例を市民に知ってほしい。

（時間配分について）

- 末吉委員の問題提起は20分では足りないので30分必要である。
- パネルディスカッションの最初に、各パネリストの取組報告を一人7分程度で行う、その後に、末吉委員がコーディネーター役でパネリストから話を引出し進めていく。

結果、問題提起30分、パネルディスカッション90分となった。

（パネリストについて）

- 市民目線の視点としては、企業に一市民としてどう向き合うのか、ビジネスとの付き合い方、消費者として国際的なことをどう考えるのか。
- 企業との共有価値の創造まで高めていかれるといい。
- 市民目線の人選だが、社会的責任を市民目線で語れる人ということであれば、庄司委員長が適任である

- 事例報告は、富士通、NEC、ショウエイの三者で庄司委員長はパネリストとして入る。

以上の意見交換から、フォーラムの開催概要を以下の内容とした。

【開催概要】

- 開会時間 13:10 開場 13:30 分開始
- 問題提起=30分 パネルディスカッション=90分
- 上記時間に挨拶などを加えて15:45に終わらせるようにする。
- 参加企業や団体のPRコーナーをもうけちらしが置けるようにする。
- 事前打ち合わせは、特に設けず、委員やパネリストの顔合わせは13:00から会場内で行う。
- 詳細は事務局に委ねる。
- フォーラム終了後に第5回委員会を開催する。

(広報ルートについて)

- 川崎市の企画課、庁内会議を通して呼びかける。
- 他機関への配布はもちろんだが、特に工業会を通して地域の企業へ呼びかけたい。
- メディアには、市からの投込みのあと、委員が個別に新聞社に情報発信の依頼をする。
- 神奈川新聞は小倉委員、タウンニュース川崎版・日刊工業新聞は岩森委員、東京新聞は瀧田委員という申し出がそれぞれあった。
- 市からの投込みは2週間前くらいを目途にしている。

(広報チラシ他について)

- セミナーに出て良かった、と思われるようにパネラー企業の宣伝になるような文言をチラシに盛り込む。
- 国際社会に開かれた川崎であることを示すような、データバンクの数字を利用した宣伝文句をちらしに入れるのと同時に、川崎が如何に日本のGDPに貢献しているかなど、企業都市、国際都市としての川崎を訴求するような配布物を用意できるといい。市民がその情報を共有したことで、川崎に住んでよかった、自分たちが住むところとしていいコミュニティーであると思ってもらえるような一枚刷りの案内があるといい。

3. 来年度のかわさきコンパクト事業推進について

資料に基づいて、来年度の事業推進案が説明された。意見交換内容は以下の通りである。

- グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク（以下、GC-JN）の取組が今までの環境中心から人権に移行するなかで、川崎市でも環境局のみの体制から市民局と一

緒にやっていく体制を作らないと対応できないと思われるが、どういう手立てを取るのか。

- (市) 市民局に対して発信はしている。段階的に連携を図り、委員会の場に同席してもらえるような働きかけをしていく。
- 市民や企業への呼びかけと同時に、市役所内部で認知をしてもらう必要があるがどのように進めているか。
- (市) 継続的に庁内推進会議で説明を重ね周知を図っていく。
- GC・JN の話を聞く機会を設けて、あらためてグローバル・コンパクト、かわさきコンパクトへの理解を深める機会が必要である。
- 委員会の構成メンバーは、国際分野にもう一人ということだが、末吉委員がいれば十分ではないか。
- (事務局) 特に補充する必要があるというわけではない。

(新しいチラシ案について)

- 具体的に何をしているかがわかりにくい。セミナー開催していることや、私も参加しています！みたいな参加者の一言を入れると手に取りやすくなるのではないか。
- 企業向けも同様に、参加企業の一言があると親しみやすい。
- 市民コンパクト、ビジネスコンパクトがあることは大きな特徴で、企業と NPO が出会う場であることを訴求したほうがいい。

4. 事務連絡

3月12日開催のフォーラムについて再確認をした。

- 委員は13時に会場に集合する。
- 次回の委員会は、フォーラム終了後の16時から17時に開催する。

来週の第3回セミナーについて、申込者が9名(企業3名、NPO6名)であることが報告された。庁内への一層の呼びかけを図ることになった。当日の司会進行を岩森委員が担当することを確認した。

5. 閉会